

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・3月に入り、前半の動きは鈍かったものの、後半には会合、接待、送別会を開催する企業等が増えてきて、売上も前年同期に比べて良くなってきている。
	◎	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・前月から団体や法人利用が着実に増加傾向にはあったが、今月に入り一段と増加傾向になり、非常に好調に推移している。また、送別会シーズンでもあり、コロナ禍では10人未満の送別会が大半だったが、今月はコロナ禍前の水準に近い件数や人数まで戻ってきている。
	◎	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・3か月前の12月と比べて、宿泊、レストラン、一般宴会の全てが上回っている。全館でみても12月と比べて110%となっており、客の動きは良くなってきている。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・マスク着用ルールの緩和や春休みもあり、旅行に対する機運の高い状況が続いており、前年と比較して来客数が増加している。
	◎	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・降雪によりクローズする日があったものの、温暖な日が続き、来場者は順調に推移している。昼食時のレストランでは、統一地方選挙の話題も多く、年度末の小さなコンペも増えてきている。また、若者のゴルファーが多くなってきている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・学生の新学期用の注文に入っているが、例年と変わらず景気は安定していると感じている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症も沈静化するなか、全国旅行支援や行政等の消費喚起事業等で、来客数が増えている。
	○	一般小売店 [薬]（経営者）	来客数の動き	・夜の商店街の人出が増えてきている。
	○	百貨店（経理担当）	来客数の動き	・来客数は前年比104%と上回っている。
	○	スーパー（経営者）	それ以外	・前年比で売上は100%、来客数は14%減少となっている。来客数が減っていても、イベントの再開で何とか売上を確保し、3月末には1%は増加に転じていければうれしい。新型コロナウイルス感染症も収束してきて、イベントが再開されて注文がかなり増えている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症も大分落ち着いて、やや消費が上向いている。花見シーズンで天候も良く、冷たい物、アイスコーヒー、ビール等が売れている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症に関する様々な規制が緩和されつつあり、やや良くなっている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客足は思ったほど遠のかず、物価高の影響もあって売上は前年を超えてきている。
	○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・ようやく何とか前年に近い数字が出てくるようになってきている。今月は恐らく天候が良かった影響もあり、季節的な変動の範囲内だとは思いますが、以前よりは若干良くなっている。ただし、ようやく戻ってきたという状態なので、余り良い状況ではないような気もしている。
	○	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・年度末の影響と思われるが、やや良くなっている。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・温暖な天候もあり、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れつつある。4月の統一地方選挙の告示で人流はあるものの、金額的には効果が薄い状態である。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・この1年間をみても、12月に前年を割った以外は、全て前年比プラスで、10~20%ほどプラスになっている。今月も115%くらいで終わりそうである。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・ツアーの予約状況が好調である。県外ナンバーの車が多く行き交い、鉄道では外国人旅行客をよく目にするようになっている。
○	その他サービス [貸切バス] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきているため、やや良くなっている。	

□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商材の動きをみても必要な物の買換えや購入のみで、客は売る側の施策には乗ってこない。ほとんど全ての物が値上げだといわれており、余分な出費を控えている。
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・天候も良く、既存店の来客数は微増している。単価が高い分、客は買上点数を減らしているため、ほぼ前年並みで変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・縫製に必要な素材や工賃等の全ての価格が値上がりしていて、客の流れも悪い。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・依然として、来客数が前年割れとなっている。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は3月ということもあり、目標値を上回る入庫となっている。車両販売は物価高騰により、ここに来て購入に慎重になる客が多くなってきている。
□	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・タイヤメーカーより春からの値上げ発表があり、タイヤを中心に売上は伸びている。ただし、依然として来客数は前年割れの状態で、必要最小限の買物にとどまっている。
□	スナック（経営者）	来客数の動き	・2月末～3月中旬は最悪で、下旬になって上向いてきたが、今はかなり落ち込んだまま終わりそうである。3年間、完全に外食産業が悪者にされてしまっていたので、そう簡単には客も戻ってこない。一からやり直すつもりで信頼関係を構築していくだけである。
□	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子だけでなく、客数や販売量の動きなどを踏まえても2～3か月前と比べて変わらない。競争相手の様子をみても、それほど余裕がない。とにかく景気は良くない。
□	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前だと、3月は地元の彼岸の集まりや、学校、会社の歓送迎会等の開催で団体客があったが、今年はいまだに団体客は動いていない。それでも、全国旅行支援のお陰で、夫婦や家族など少人数の客にはそこそこの動きがあり、結果、例年の8割程度まで回復してきている。あともう一息といったところである。
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・大きな動きがなく、3か月前と比べても変化は感じられない。客の様子や来客数も変わらず、やはり燃料や光熱費の値上げにより、旅行は自粛傾向にあるようである。全国旅行支援の延長に期待する。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・前月から特段変化はない。引越シーズンのため、入退去の連絡は多いものの、新規契約の動きは余りない。
□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の終息によるゴルフ離れが顕在化している。景況感としてはコロナ禍の景気対策もあつてか、悲観的な話は少ない。アフターコロナの景況感やインフレの影響については、今後注意深く観察したい。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数も減少傾向にあり、マスクの着用も個人の判断に任せられ、感染法上の分類も5類に引き下げられれば、客の動きも活発になっていくのではないかと。団体の利用は少ないが、ファミリー層などが増えてきている。
□	設計事務所（職員）	来客数の動き	・依頼数や相談は多く、対応に時間が掛かっている。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・中心街の百貨店が閉店したが、全くゼロになったわけではなく、百貨店に入っていた店が、街中の空き店舗に店を開いてくれている。この店がいつまで続くかで先行きが決まる。
▲	スーパー（店長）	単価の動き	・毎週商材の値上げが発生している。
▲	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・おにぎり、パン等の単価の安い商材の動きが非常に良く、前年比で100%を超えている。それに比べて、弁当や麺類は大きく前年割れとなっている。単純に、おなかの満たし方が雑になっている。

	▲	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車の生産回復により、バックオーダーからの売上は増加している。ただし、物価上昇の懸念からか、新規受注は落ち始めている。中古車の相場が下落しており、小売、卸売共に動きが鈍っている。
	×	*	*	*
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	その他製造業 [宝石・貴金 属] (経営者)	取引先の様子	・3月に入り、消費は思ったほど伸びず、ルートセール、催事共に前年比10%のダウンである。海外で3年ぶりに宝飾展示会が開催された。日本からの出展のうち、特に、真珠製品はかつてない売行きで4～5月に国内で開かれる宝飾展示会に出品する物がないほどの状態になっている。国内の状況が一向に良くならないため、今後ますます海外へシフトしていく業者は増える。金の価格も更に高騰しており、商材作りに苦慮している。
	□	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量 の動き	・人の動きが徐々に良くなってきているとは聞くものの、数量は全く変わらない。
	□	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・原材料費、運搬費、光熱費等のコストが高止まりし、利益を圧迫している。
	□	窯業・土石製品 製造業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・受注の動きがない。
	□	金融業 (経営企 画担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、国内のみならず海外からの旅行者も増加してきているが、観光業は回復してきていると感じているが、物価高による食品等の値上げにより、国内消費は手控えられている。
	□	新聞販売店 [広 告] (総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・観光業は新型コロナウイルス新規感染者数の減少や感染対策の緩和により、新型コロナウイルス感染症発生前とまではいかないものの、回復傾向ではある。ただし、様々な物価高により、法人、個人共に節約傾向が高まっている。また、折込チラシの出稿も、デジタル化と紙代高騰による影響を受け、新年度に向けた出稿数は減少傾向である。
	▲	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・前月まで依頼の多かった試作案件や見積案件が減少している。若干、現場にも余裕が出ている。
	▲	建設業 (経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・資材の値上げが続いているため、景気は変わらない。
	▲	金融業 (調査担 当)	取引先の様子	・製造業の景況感は、企業間格差がみられる。特に、電子部品関連では格差が広がっている。非製造業では、観光関連で改善の動きがみられるものの、価格上昇分の転嫁が遅れている企業も多く、景況感の改善には至っていない。
	×	*	*	*
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	求人情報製作会 社 (総務担当)	周辺企業の様子	・求人情報への掲載で、こちらからアプローチしなくても依頼が来る件数が増えている。
	○	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・全体的に求人は前年同月比で増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響から一転し、人手不足を起因とした活発な採用活動が再開されている。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・相変わらず、週末等の駅前の人影はまばらであり、地方の零細企業ではベースアップなしというところが多い。
	□	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・求人数は好調であるものの、新規求人が減少している。年度末に契約期間終了等での退職予定求職者の来所が増えてきている。
	▲	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染第8波の状況が落ち着きつつあり、感染症対策も緩和ムードにシフトしている。外出機会の増加や行動の活発化に伴い、宿泊、飲食関係や生活関連サービス業等で求人が出てきているものの、主に製造業においては、原材料不足や諸物価高騰等の影響で、求人が手控えられているという感触がある。
	×	—	—	—